

I. 一般目標 (General Instructional Objective)

医療人として全人的医療を行うために泌尿器科診療における基本的知識と技術を学ぶとともに、医師として必要な態度・習慣を修得する。

II. 行動目標 (Specific Behavioral Objectives)

① 基礎的知識の理解

尿路性器・副腎の解剖・生理、排尿機能・性機能、尿路管理、創傷管理、周術期管理、腫瘍学、免疫学、化学療法、放射線治療、腎機能管理、尿路性器感染症

② 泌尿器疾患の検査、診断手順の習得

適切な病歴聴取、全身の身体所見、陰部および腹部の診察、ならびに診療録への記載。検尿、腹部超音波画像診断法、直腸診、膀胱内視鏡検査、X線検査(泌尿器科特殊検査、CT、MRIなど)の組み立てとその解釈、診断手順を習得する。

③ 泌尿器疾患の治療を理解する。

確定診断、進捗診断に基づき、内科的、外科的、放射線科的治療を含めた包括的な治療法の選択を理解する。

④ 泌尿器疾患の手術を理解し、手術の基本主義を習得する。

病態に応じた手術の意義、適応、術式を理解し、手術に参加してその基本手技を学ぶ。また、ロボット支援手術や腹腔鏡手術における役割分担を理解し、手術デバイスの操作練習をする。

⑤ 周術期管理を理解し、実践する。

泌尿器疾患手術の周術期における十分な知識と管理技術を習得する。

⑥ チーム医療の実践

コミュニケーションの方法と技能を習得し、他者との円滑なコミュニケーションをとることができ、医療チームの一員として診療に参加する。

⑦ 医療倫理の習得

医師に相応しい倫理的態度を身に着け、患者情報の守秘義務と、患者、家族への情報提供の重要性を理解し、適切な取り扱いができる。

III. 方略 (Learning Strategies)

1. 指導医または上級医とともに入院患者の担当医となり、受け持ち患者の診療に従事する。
2. 病棟回診に帯同し受け持ち患者以外の診療の概要を理解する。
3. 指導医・上級医のもとで外来患者の診察・検査指示を行う。
4. 指導医・上級医とともに手術・検査に参加する。
5. カンファランスに参加し、積極的に討議する。

IV. 経験できる疾患・手術など

経験できる症例:

- ・尿路性器悪性腫瘍(腎細胞がん・尿路上皮がん・前立腺がん・精巣がん)
- ・副腎腫瘍(クッシング症候群・原発性アルドステロン症・褐色細胞腫)
- ・尿路結石症(腎結石・尿管結石・膀胱結石)
- ・尿路性器感染症/性行為感染症
- ・排尿障害(前立腺肥大症・神経因性膀胱・尿失禁・過活動膀胱)
- ・尿路外傷(腎および尿道損傷)
- ・腎後性腎不全

経験できる手術:

- ・ロボット支援手術(前立腺全摘除・腎部分切除)
- ・経尿道的手術(前立腺レーザー切除・尿路結石破砕術・膀胱癌切除術)
- ・腹腔鏡手術(腎摘除・腎部分切除・副腎摘除・精巣静脈瘤手術・尿管管遺残手術)
- ・体外衝撃波結石砕石術(ESWL)
- ・膀胱全摘除+尿路変向術(回腸導管・新膀胱造設)
- ・小手術(陰嚢水腫根治術・精巣固定術・包茎手術)
- ・尿失禁手術(スリング手術)、臓器脱手術(TVM)
- ・尿管ステント留置術

V. 評価 (Evaluation)

minimumEPOC・症例レポートによる事故評価・指導医評価。

指導医・看護師などによる形成的評価。

VI. 指導者と研修施設

1. 診療部長 井川 掌
2. 指導責任者 末金 茂高
3. 指導医 松尾 光哲、西原 聖顕
4. 研修施設 久留米大学病院

VII. 週間予定

月	7:50 症例カンファランス	8:30 外来
	13:00 教授病棟回診	
	16:30 手術症例/外来症例カンファランス	
火	7:50 症例カンファランス	8:30 病棟/手術
	18:00 抄読会、研究カンファランス	
水	7:50 症例カンファランス	8:30 外来/手術
	13:00 病棟	
木	7:50 症例カンファランス	8:30 外来
	17:00 セミナー	
金	7:50 症例カンファランス	8:30 外来/手術
	13:00 病棟	
土	8:30 病棟・申し送り	

